4.28沖縄闘争を
階級闘争の第一歩とせよ

労働者諸君！

三里塚空港公団PR映画粉砕共闘は、昨年秋以来、創り上げて来た実体的労学共闘を、今4・28闘争において更に拡大定着させることを、先ず最初に呼びかける。

三里塚空港強行建設と同時並行的に、現地農民や全国の戦闘的労働者、学生の三里塚闘争に敵対する、空港公団PR映画「世界を結ぶ新空港」の製作企画を知った我々は、ただちに労学共闘の粉砕共闘を組織した。そして反革命的映画が生産されて行くその生産過程に直接的に介入し、直接的に介入することによってその製作を粉砕して来た。この「反革命生産」は、帝国主義的攻撃の基本戦略として、とりわけ国家権力と大独占とマスコミ産業に強化されつつある。このような「反革命生産」を強要される主体としての労働者は私的労働力を商品化しなければ＝労働しなければ生きて行けないという日的エゴと、自分が生産することによって労働者階級総体に敵対するという、沖縄全軍労のひひえた矛盾と全く同質のものを持っており、その矛盾が革命によってしか止揚されないが故に、我々の〝沖縄闘争〟とは、そうした反革命生産粉砕の闘いの全人民的定着としてある。このような帝国主義深部における闘いを通じて、労学共闘の実体化を克ち取って来た粉砕共闘は、更なる共闘の拡大によって新たな〝統一〟と〝主体化された沖縄闘争〟を共に闘って行く。

我々は空港建設に沿った新幹線の建設等も一切許さないし、ましてや空港建設、PR映画製作も許すものではない。

全ての労働者、学生諸君！　労学共闘の全人民的実体化の第一歩として、粉砕共闘の旗の下に共に闘おう！

三里塚空港公団PR映画粉砕共闘